

私たちが流した水はどうなるの？

下水道は、見えないところで 自然と暮らしを守ります

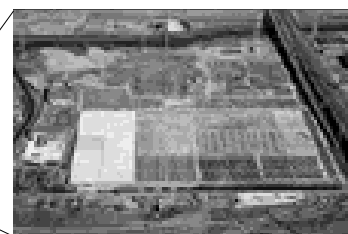
私たちの日常生活や、活発な生産活動から出るさまざまな排水は、もはや自然の浄化能力をはるかに超えています。これらの汚水を集めて処理・浄化し、きれいな水にしてから川や海に戻す役割を果たしているのが「下水道」です。狭山市の公共下水道は、昭和46年に埼玉県による広域的な荒川右岸流域下水道事業に加わり、昭和50年から市街化区域を中心に整備してきました。また、平成5年度からは市街化調整区域の整備に着手し、現在の下水道普及率は82・4%となりました。今年度からは市街化調整区域第2期事業に着手し、整備を進めています。

流域下水道で広域的に処理されます

狭山市の下水道は、流域関連公共下水道といえます。これは、市単独の処理場を持たないで、いくつかの市や町の汚水を一か所に集めて処理するもので、狭山市と川越市、所沢市、人間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、上福岡市、大井町、三芳町、川島町、吉見町の10市4町が荒川右岸流域下水道を利用し、和光市にある処理センターでこれらの汚水を処理しています。処理場と各市町を結ぶ幹線を流域下水道といい、埼玉県と流域の各市町で建設します。流域下水道と各家庭などを結ぶ管が流域関連公共下水道で、各市町で整備します。

月現在の下水道普及率は82・4%になりました。これは全国平均普及率58・0%、埼玉県平均普及率64・7%を大幅に超えた下水道整備の普及率です。

荒川右岸流域下水道処理区域



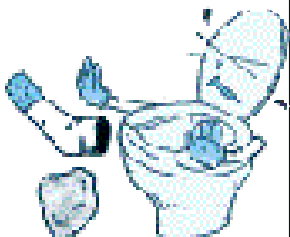
処理センター（和光市）

市では、流域関連公共下水道の整備を昭和50年から進め、平成11年3

下水道はみんなの財産、大切にしよう！

トイレットペーパー以外は流さないで！

水洗トイレには、トイレットペーパー以外のものは流さないでください。水に溶けない紙や紙おむつ、タバコやガム、ビニールなど、みんな「詰まり」の原因になります。また、トイレで流す水の量は、汚物を流すための適量になっています。水の量を少なくすると汚物が十分に流れず、「詰まり」や、「嫌な臭い」の原因にもなります。



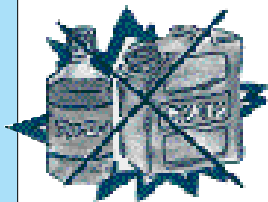
「詰まり」の原因。台所のごみは流さないで！

台所から出る生ごみや天ぷらなどの廃油は、排水管の「詰まり」の原因になります。また、汚水を処理する処理センター(和光市)の機能を低下させることにもなります。絶対に生ごみや廃油は、流さないでください。また、宅地内の汚水マスやマンホールから、土砂やごみなどを捨てないでください。



爆発することも。危険物を流さないで！

ガソリンなどの揮発性の高い危険物を流すと、管の中で爆発を起こすこともあり、大事故につながります。下水道に危険物は絶対に流さないでください。



排水があふれることも。汚水管に雨水を流さないで！

狭山市は、分流式公共下水道で汚水と雨水を完全に分離し、別々に排除する方式をとっています。雨どいなどを宅内の汚水管へ接続していると、汚水管の排水能力を超えてしまい、マンホールや宅内のマスなどから排水があふれてしまいます。接続しているご家庭は、雨どいなどの切り離しにご協力ください。

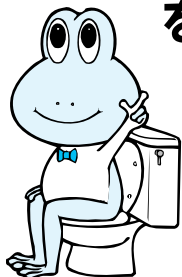
本年度から市街化調整区域第2期事業に着手

狭山市の下水道は、市街化区域を中心に整備を進めてきましたが、河川の水质など環境の一層の保全のため、平成5年度から市街化調整区域第1期事業の整備に着手し、平成9年度にほぼ完了しました。今年度から平成17年度までの7か年計画で市街化調整区域第2期事業として、市内8地区および市街化調整区域第1期事業の周辺区域113・11haを整備します。整備にかかる経費については、皆さんの負担をできるだけ軽減するため、国の補助や地方債(借入金)などを活用していきますが、受益者のかたがたにも事業費の一部を負担していただき、整備を進めることとなります。

公共下水道への接続にご協力を

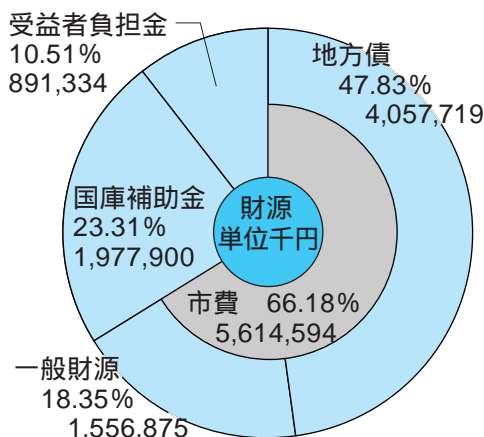
下水道が整備されると、私たちの毎日の生活排水のたれ流しによる周辺環境の悪化や、河川の汚れを防ぐことができます。また、トイレの水洗浄などによって、住環境は清潔で衛生的になります。

私たちの生活環境の保全と安全快適な街づくりのため、一日も早く公共下水道へ流す改造工事をお願いいたします。



市街化調整区域第2期事業費の内訳

事業費総額 84億8千382万8千円



問い合わせ下水道管理課内線2721 下水道建設課内線2741